

# 世界の映画祭を席卷!!

リバーラン国際映画祭2024  
ベスト・ドキュメンタリー賞受賞

FIFDH国際人権映画祭 2024  
ベスト・ドキュメンタリー賞受賞

ブダペスト国際ドキュメンタリー映画祭2024  
ベスト・ドキュメンタリー賞受賞

ベルゲン国際映画祭2023  
ヒューマンライツドキュメンタリー賞受賞

ニューヨーク・ドキュメンタリー映画祭2023  
Winner's Circle受賞

ReelAbilities 2023  
アクセシビリティ賞受賞

キッズ・レジリエンス映画賞2023  
グランプリ受賞

HOTDOCS 2023  
特別審査員賞受賞

BIFA (ブリティッシュ・インディペンデント・フィルム・アワード)  
The Raindance  
Maverick Awardノミネート

ビッグ・スクリーン・アワード2023  
Documentary Film  
Campaign of the Yearノミネート

ワン・ワールド・メディア・アワーズ2023  
Refugee Reporting Awardノミネート

第67回 BFI ロンドン映画祭2023  
ドキュメンタリー賞ノミネート

## ぼくの 名前前は ラワン

僕にとって  
〈言葉〉は  
〈自由〉を  
意味するんだ。

文科省選定作品

高校生・青年・成人向き

A FILM BY EDWARD LOVELACE Written and Directed by Edward Lovelace Produced by Fleur Nierdu Sam Arnold Beyan Taher Neil Andrews Marisa Clifford and Edward Lovelace PPLP ESC BFI Film Commission  
2022年/イギリス/ワールド語・英語・イギリス手話(BSL)/90分/16:9/2.0ch/原題:Name Me Lawand/日本語字幕:杉山隼/バリアフリー字幕:戸田紗耶香/バリアフリー字幕監修:那須映里、サミュエル・アッシュ/提供:ニューセレクト  
配給:スターキャットアルバトロス・フィルム © Lawand Film Limited MMXXII, Pulse Films, ESC Studios, The British Film Institute lawand-film.com

“クルド人”であり“ろう者”の少年ラワン。多くの困難を乗り越え、学び、成長していく姿をダイナミックで抒情的な映像と音楽で綴る、心揺さぶる珠玉の物語

【バリアフリー対応日本語字幕での上映となります】



# 映画がいかにかに人生を豊かにするか、 この作品は教えてくれる

— MARK KERMODE

ロケットマト  
**100%**

僕は生まれた時から、いつもよそ者みたいな気がしてたんだ  
でも、今なら分かる。世界は変えられる。自分の居場所を見つけられる。

— ラワン・ハマダミン

社会の決めつけるマイノリティ的枠組みに  
押し込められてきた視野が、  
「自分のことば」の獲得を通じて  
爆発的に拡がってゆくプロセスを、  
まるで我がことのように体感させられる……  
今の日本でこそ多くの方に観て、  
考えていただきたい、美しい作品です。

宇多丸 (RHYMESTER)

言葉とは何か。伝えるとは何か。  
人と人とが触れ合うとは、どういうことなのか。  
ラワン。ラワン。映画を見終えたあとは、  
彼の名前が胸の中でこだまするだろう。

齋藤陽道 (写真家)



# NAME ME LAWAND

生まれつき耳が聞こえないろう者でクルド人の少年ラワン。イラクでの生活にラワンの将来を案じた両親は、イギリスへ亡命することを決意。難民キャンプで1年を過ごした後、ある支援者の尽力で一家はイギリスに入国。ラワンはダービーにある王立ダービーろう学校に入学することに。生まれて初めて手話を学んだラワンは、先生や友達とコミュニケーションを取ることで、周囲が驚くような成長を遂げていく。そんな中、ラワン一家は突然、イギリス政府から国外退去を命じられるのだった…

監督は、これまでSXSWやBFIロンドン映画祭などで高い評価を受けてきたエドワード・ラブレース。2019年にラワンと出会ったラブレースは、殻を破ろうとする彼に心動かされ、クルド人やろう者のプロデューサーらと撮影チームを組み、実に4年もの年月をかけてラワンの成長をカメラに収めていった。心に傷を負ったろう者の少年が、新天地での出会いと学びによって自分らしさを獲得していく過程を、ダイナミックで抒情的な映像と音楽で描写。そこに宿る圧倒的な没入感と心揺さぶる物語は世界中で絶賛され、ニューヨーク・ドキュメンタリー映画祭を始めとする各国の映画賞を席卷。世界を深い感動と共感で包んだ成長物語が誕生した。

## ぼくの名前は ラワン

lawand-film.com

監督・脚本:エドワード・ラブレース 出演:ラワン・ハマダミン 2022年/イギリス/クルド語・英語・イギリス手話(BSL)/90分/16:9/2.0ch/原題:Name Me Lawand/  
日本語字幕:杉山緑/バリアフリー字幕:戸田紗耶香/バリアフリー字幕監修:那須映里、サミュエル・アッシュ/提供:ニューセレクト/配給:スターキャストアルパロス・フィルム  
© Lawand Film Limited MMXXII, Pulse Films, ESC Studios, The British Film Institute

本事業の鑑賞サポートは、「東京文化戦略2030」の取組「クリエイティブ・ウェルビーイング・トリーキョー」の一環でアーツカウンシル東京が助成しています。 主催:ニューセレクト株式会社  
【バリアフリー対応日本語字幕での上映となります】



高知市立中央公民館事業

第209回



**6月23日(火)**  
※開催は1日のみです

高知市文化プラザかるぼーと 四国銀行ホール

※同時上映 ひとつの机、ふたつの制服

主催 市民映画会運営委員会・公益財団法人高知市文化振興事業団・高知市

上映時間	ぼくの名前はラワン	ひとつの机、ふたつの制服
	11:40	13:40
	15:50	17:45
	19:45	
開場 11:00 / 終了 21:17		

料金 一般券1,500円 割引券1,200円

(映画会当日のみ入場口で販売、前売券はありません)

※割引券の購入対象者は学生証・障害者手帳等の所持者および65歳以上(要年齢証明)の方。

※障害者手帳をお持ちの方で介助が必要な場合は、介助者1名まで割引料金。

この事業は、よさこい高知文化祭2026応援事業です。

(お問い合わせ) 高知市文化振興事業団 ☎088-883-5071